

デジタル資料を上手に活用

近年では、自宅にしながらの買い物やSNSでの人の交流など、インターネットは私たちの生活に欠かせないものとなっています。そこで今回は10月27日(木)～11月9日(水)の読書週間を前に、市立図書館のオンライン上で利用できるサービスを紹介します。

電子書籍サービス

市立図書館では、スマートフォンやパソコンなどで本が借りられる「市立図書館電子書籍サービス」(<https://narita-public-library.overdrive.com>)を提供しています。このサービスは自宅や外出先から、いつでも利用できます。

9月7日からは雑誌も借りることができるようになりました。「ヴォーグジャパン」や「サンデー毎日」、「プレジデント」などの和雑誌約90誌、「Newsweek」などの洋雑誌約4,000誌を最新号からいつでも待つことなく、読むことができます。

市立図書館デジタル資料

「市立図書館デジタル資料」(<https://www.library.city.narita.lg.jp/digitalcontents>)では、成田市の昔の写真や江戸時代から明治時代に作成された村絵図、成田市にゆかりがある人物に関する貴重な資料を高精度な画像で見ることが

ができます。

オンラインデータベース

市立図書館本館2階の参考資料室にあるパソコン席では、さまざまなオンラインデータベースを利用することができます。

例えば、法情報総合データベース「D-I-Law」では、法律や明治時代以降の判例などを検索することが出来ます。

このほかにも、過去に発行された新聞記事を検索・閲覧できる朝日新聞記事データベース「朝日新聞クロスサーチ」や読売新聞記事

データベース「ヨミダス歴史館」、1900年初頭から1950年ごろまでの国内製レコードなどに収録された音楽や演説などを検索・視聴できる国立国会図書館の「歴史的音源」などを利用できます。「歴史的音源」は公津の杜分館のインターネットコーナーでも利用できます。

紙の資料では得られないデジタル資料ならではの情報を無料で提供しています。調べ物がある時は、ぜひ利用してください。
※くわしくは市立図書館 ☎27・2000へ。



①



②

①最新号の雑誌を読むことができる「市立図書館電子書籍サービス」

②成田市の歴史資料が閲覧できる「市立図書館デジタル資料」

国立国会図書館 デジタルコレクション



「国立国会図書館デジタルコレクション」(<https://dl.ndl.go.jp>)は、国立国会図書館がデジタル化した資料を検索したり、閲覧したりすることができるデータベースです。図書資料をはじめ、官報や江戸時代以前の資料・絵図、博士論文などが410万点以上収録されています。このうち、著作権保護期間が満了した資料や出版者から許諾を得られた約56万点の資料、絶版などの理由で入手が困難な約152万点の資料をインターネットを通じて閲覧することができます。利用するには事前に利用者登録が必要です。